



こんにちは日本共産党です 八千代市議団ニュース

堀口 明子 ☎047-767-5030 植田 進 ☎047-487-9754
伊原 忠 ☎047-488-7207 飯川英樹 ☎080-1239-8132

ホームページへ▶

市議団ホームページ <http://jcp-yachiyo.jp/>
共産党控室メール kyousan@city.yachiyo.chiba.jp



第426号

2019年10月14日

発行

日本共産党

八千代市議会議員団

八千代市大和田新田

312-5

「はぐみの杜」は、小学校2校・中学校1校だった!!

日本共産党は9月議会で、「はぐみの杜」こと、緑が丘西地域を開発する際に学校の設置はどのように計画していたのか?ということについて質問をしました。

その答弁内容は、昭和61年に市からの開発整備要請により、当時の住宅・都市整備公団との間で、昭和63年に「(仮称)西八千代駅北部特定土地地区画整理事業に関する覚書」を締結し、事業計画策定の方針を定めた、その内容は、小学校2校、中学校1校の用地を確保することとなっており、小中学校計画数については、児童・生徒発生率等から算出した必要学級数を基に算定したというものでした。

中学校はどこへ行ったのか?

その後、平成18年当時の現状を踏まえ、社会情勢の変化と児童・生徒発生率等の見直しという理由で、小学校は1校になってしまい、中学校は事業主体である当時の公団と教育委員会での複数回にわたる協議を行った結果、私立中学校への入学希望者が増加していること、高津中学校及び睦中学校の特別教室の一部を転用することで対応できるという理由で、平成20年4月3日の第1回の変更認可で中学校の位置付けを取りやめてしまいました。

計画人口はそのまま無責任な開発

この地域の開発はそもそも平成13年時点で、地区面積は約140ヘクタール、計画人口は約1万4千人で、小学校1校、中学校1校を配置するというものでした。

しかし、約18年が経過した今でも地区面積と計画人口は、そのままなのに小学校は1校のみとなってしまう、公民館などのコミュニティ施設やバスなどの公共交通すらありません。

そして地域の真ん中で分断された中学校の学区は、どちらも遠く、「中学校へ行くのに1時間近くかかる」、「部活の為に学校と自宅を往復するのが大変」という声も聞こえています。

中学校はおろか小学校すら足りない

この地域にあるみどりが丘小学校では、教室数不足の為に学区の一部を隣の新木戸小学校へ戻すような話も出ています。(過去に新木戸小学区の一部をみどりが丘小へ変更した経緯があります)

つまり、計画人口に見合った学校の設置が行われていない為に、そのしわ寄せが市民に押し付けられてしまっているのです。

日本共産党は、議会で中学校の必要性を強く訴えています。今後も問題解決のために頑張ってまいります。

